

四万十川の“河川維持管理計画”をつくりました！

< 国土交通省 中村河川国道事務所 >



“SIMAS” since 2012
四万十川 守る 安全を！
(shimantoriver management system)

1. 河川管理施設（堤防、樋門等）の概要

- 1) 国管理区間の主な施設
 - ・堤防延長（四万十川本川、左支川後川、右支川中筋川）約40km。
 - ・水門1箇所、樋門55箇所、排水機場5箇所。
- 2) 施設の状態
 - ・30年以上経過した施設が60%を占め、機械施設等の**老朽化が進行**。

2. 維持管理の現状と課題

- 1) 社会経済情勢から**予算が厳しい**。
- 2) 施設の老朽化が進み**維持更新費が急増**してくる。
- 3) 維持管理が**事後対応的**であった。
- 4) 東南海地震への**耐震・津波対策**。
- 5) 少子高齢化（操作人等）に向けた**省力・自動化**。

堤防・河道の管理



堤防除草



樹木伐採



河床整正

地域に還元(コスト削減)



除草ロール



伐採樹木

河川巡視(河川の状態把握)



船上巡視



陸上巡視

3. 目的

- ☆ 効果的・効率的な維持管理の推進！
- ☆ 計画的・予防保全的な維持管理への転換！

ゲート、ポンプ等の点検・補修



衛星通信車の伝送施設の点検



4. 今後の維持管理について

- 1) 維持管理計画を策定（H24年3月：HPで公表）！
 - ・概ね**5年間**の維持管理**目標**を設定。
- 2) 具体的な内容
 - ・河川の**調査**や施設の**点検方法**を**具体的に**設定。
 - ・劣化状況や老朽化の度合、重要度等から**重点的**に更新。
 - ・ゲート施設更新時には**フラップゲート**への変更を検討。
 - ・維持管理（施設機能維持、堤防除草等）の**コスト削減**。
 - ・河川構造物の**長寿命化**への取組。

ゲートの変更(省力化、津波対策)



引上ゲート



フラップゲート